一般質問（令和6年第2回定例会）

質問者	質問事項	質問要旨
川浦 雅子	1. 水道管耐震化について	1. 神川町の現状と改修計画等について ・厚生労働省の調査では、2022年度での主要な水道管の「耐震適合率」が全国平均42.3%だった。神川町の耐震化状況を伺います。
	2. 子どもの近視と睡眠の質について	1. デジタル機器との向き合い方について ・文部科学省の調査では、全国の小中高校生の裸眼視力1.0未満の割合が、2022年で過去最多となった。 また、幅広い年代では、デジタル機器等の寝る前の使用等で睡眠の質の低下と、目の疲労を引き起こし、免疫力低下へとつながると言われている。子どもの視力低下予防と健康面からのデジタル機器等との上手な付き合い方など、周知啓発する事について伺います。
	3. 高校入学時の支援について	1 支援の枠組み拡大について ・現在、神川町では小中学生への就学援助制度はありますが、これを高校入学時まで対象とするとともに、高校入学時に費用負担が集中する制服やタブレットの取得支援ができないか伺います。
剣持真菜美	1. こども基本法の周知について	1. こども施策に対する意見の反映について ・昨年度から導入されたこども基本法について、子どもや町民、行政サイドも含め認知度が低い状況にあります。町として、どのような方法で周知を広げていく計画がありますか。 特に、地域の学校、保育所、幼稚園並びにコミュニティ活動を通じた情報提供や、行政内部での横断的な共通認識など、具体的な取り組みについて伺います。
	2. 防災意識向上のための取組について	1. 現状と今後の取組について ・町では、ハザードマップに基づき山間部での土砂災害警戒区域での避難訓練が行われていますが、平野部における町民向けの避難訓練が不足しています。 また、これまで大きな災害を経験していない町民の防災意識は低く感じます。災害は暴風雨などの気象に起因するものや地震による家屋倒壊なども想定され、これらは全世帯が対象となります。防災意識向上のためのさらなる取組について町の考えを伺います。
新井 太一	1. 町の人口減少対策について	1. 町の将来を見据えた具体策について ・民間有識者らで構成する「人口戦略会議」が公表した報告書で、今回新たに神川町が「人口消滅自治体」に含まれました。 この結果を受け、町の自立持続可能性を高めるための人口減少対策について、具体的な考えを伺います。

新井 太一	2. 太陽光発電事業について	<p>1. 太陽光発電事業の設置に伴う条例制定について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・脱炭素社会の実現に向けて再生可能エネルギーの推進や需要が高まっています。このようななか、町として地域環境や地域との共生を配慮した、太陽光発電設備の設置及び管理に係る条例制定が必要と思うが、町の考えを伺います。
四方田繁男	1. 住民に活用しやすい補助金制度について	<p>1. 補助金制度の周知方法について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町では住民が活用できる補助金制度について、広報紙やホームページなどで周知をしているが、より多くの方に制度を知ってもらい活用していただく必要を感じます。現在、町では検索しやすいホームページをどのように作成しているのか、また、有効な情報発信のため広報紙をどのように活用しているのか伺います。
福島 康弘	1. 保育所の調理員について	<p>1. 栄養士の正規職員としての配置について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・給食を提供する調理員には慎重な対応が求められる、よりきめ細やかな対応のためにも、栄養士の配置が必要であると考えているが、町の考えを伺う。
赤羽奈保子	1. 女性特有の健康課題の解決策について	<p>1. フェムテック、フェムケアについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本では、女性特有の健康課題からくる離職などにより、個人や組織の経済損失が非常に多いと言われています。この根底には、生理、妊娠、出産、更年期障害といった女性特有の悩みが起因する部分が多いと思われそうですが、課題解決のための成人保健事業や自己健康管理アプリの導入など、町としての考えを伺います。
	2. 暑さ対策について	<p>1. クールシェアスポットについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近年、猛暑日となる日が多く、季節にかかわらず熱中症のリスクが高まっています。暑さをしのぐため、これまでも「クールオアシス事業」の実施がなされてきましたが、温暖化防止の観点からクールシェア（涼しい場所を共有する）取り組みも重要と考えます。町として、公共施設のほか、熱中症対策の一環で協力いただける民間施設（例えば、クールシェアスポット協力施設）をこれまで以上に周知したり、独自の対策を行う予定があるか、町の考えを伺います。